



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月10日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社アーク

コード番号 7873 URL <http://www.arrk.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木 康夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員

(氏名) 吉田 正明

TEL 06-6260-1801

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	52,583	14.4	2,195	169.9	1,690	632.0	△9,003	—
23年3月期第2四半期	45,983	△28.4	813	—	230	—	△509	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △8,625百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △2,469百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△134.19	—
23年3月期第2四半期	△7.48	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	106,109	17,720	13.3
23年3月期	101,168	△3,131	△6.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,136百万円 23年3月期 △7,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	100,000	1.9	4,000	42.6	3,000	70.8	△9,000	—	△132.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1社 (社名) 除外 1社 (社名) ショーブラ香港
(注) 詳細は、(添付資料)3ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	68,101,592 株	23年3月期	68,101,592 株
24年3月期2Q	4,758,626 株	23年3月期	22,200 株
24年3月期2Q	67,095,867 株	23年3月期2Q	68,079,415 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、中国をはじめとするアジア経済地域において成長ペースは鈍化し、米国景気の減速や、欧州の債務問題による金融不安が見られる等、総じて厳しい状況で推移しました。国内経済においては、東日本大震災の影響を受けたサプライチェーンの復旧に伴い景気の持ち直しが見られるものの、円高や株安等、先行き不透明な状況となっております。

このような状況のもと、当社は、事業集中及び構造改革を通じた収益性向上と、構造改革を推進するための財務基盤の強化を遂行するため、平成26年3月期までの事業再生計画を策定の上、平成23年3月31日付で㈱企業再生支援機構に対して再生支援を申し込み、同日付で㈱企業再生支援機構より支援決定の通知を受けました。また、平成23年6月23日付で、㈱企業再生支援機構から債権の買取決定及び出資決定の通知を受けました。

㈱企業再生支援機構による支援のもとで、平成23年8月24日付で主要取引先金融機関及び㈱企業再生支援機構による約20,541百万円の債務の株式化、平成23年8月25日付で㈱企業再生支援機構に対する第三者割当増資による9,000百万円の資金調達がそれぞれ実施されたことにより、当社は抜本的な資本増強を果たし、債務超過が解消されました。

また、当該事業再生計画に基づき、国内の金型支援事業における固定費削減、及び非コア事業からの撤退等の事業再構築に取り組んでまいりました。足元の業績においては、国内外の開発支援事業が堅調に推移したこと、及び国内の金型支援事業における収益性が回復していること等により、総じて回復基調が継続しております。

なお、新たな経営体制の整備及び充実並びに当社の監査体制の強化を図るため、平成23年8月31日付で経営陣を刷新し、新経営体制が始動いたしました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高52,583百万円(前年同期比14.4%増)、営業利益2,195百万円(前年同期比169.9%増)、経常利益1,690百万円(前年同期比632.0%増)となりました。なお、事業構造改善費用として3,824百万円の特別損失を計上したこと、及び法人税等調整額7,106百万円を計上したこと等により、四半期純損失9,003百万円(前年同期は四半期純損失509百万円)となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間及び前第2四半期連結累計期間の、連結損益計算書に含まれる連結の範囲から除外された連結子会社の影響は以下のとおりであります。(下記表中の「差引」欄の各金額は、当第2四半期連結累計期間末において連結の範囲に含めております当社グループの売上高、売上総利益及び営業利益の合計額を示しております。)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)			当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		
	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引	連結損益 計算書	内、当第2四半 期連結累計期間 末までに連結除 外した子会社	差引
売上高(百万円)	45,983	2,136	43,846	52,583	2,057	50,525
売上総利益(百万円)	8,652	292	8,359	9,583	339	9,244
営業利益又は営業損失 (△)(百万円)	813	△93	907	2,195	50	2,145

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①開発支援事業

開発支援事業におきましては、国内では、東日本大震災の影響で自動車メーカーの開発が一旦中断したものの、受注環境は早期に回復しました。また、海外では、自動車をはじめとする輸送機器分野における需要が堅調に推移しました。その結果、売上高は18,670百万円、営業利益は1,709百万円となりました。

②金型支援事業

金型支援事業におきましては、国内では、構造改革による固定費削減策が一部顕在化したこと等により収益性が回復している一方、海外では、東日本大震災による開発計画の見直しやサプライチェーンの寸断等により、アジア地域における開発・生産スケジュールに遅れが生じました。その結果、売上高は34,665百万円、営業利益は849百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況に関する事項

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、106,109百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,941百万円増加致しました。これは主に、連結子会社でありましたショーブラ香港及びサトーセン等の子会社8社を連結の範囲から除いたことにより減少したものの有償増資により増加したためであります。

その結果、流動資産は、前連結会計年度末に比べ5,689百万円増加し、61,075百万円となりました。これは主に、現金及び預金が5,342百万円(うち連結除外影響額574百万円減少)増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ748百万円減少し、45,033百万円となりました。これは主に、有形及び無形固定資産が467百万円(うち連結除外影響額996百万円)減少し、長期貸倒引当金が117百万円(うち連結除外影響額1百万円減少)増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ15,910百万円減少し、88,389百万円となりました。これは主に、固定繰延税金負債が6,839百万円(うち連結除外影響額21百万円減少)増加したものの借入金が22,662百万円(うち連結除外影響額1,089百万円)減少したためであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ20,852百万円増加し、17,720百万円となりました。これは主に、資本金が18,583百万円減少したものの、資本剰余金が14,921百万円、利益剰余金が24,200百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末と比較して8,405百万円増加し、21,839百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は326百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期当期純損失1,895百万円、減価償却費1,962百万円、債務免除益361百万円、事業構造改善費用3,824百万円、たな卸資産の増加額827百万円、仕入債務の減少額1,195百万円、その他流動資産の増加額828百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は601百万円となりました。これは主に定期預金の預入による支出192百万円、定期預金の払戻しによる収入891百万円、有形固定資産の取得による支出1,304百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は6,259百万円となりました。これは短期借入金の純減少額が779百万円、長期借入金の純減少額1,722百万円あったものの、株式の発行による収入9,000百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月11日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において当社の連結子会社でありましたショーブラ香港は株式譲渡により連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,148	21,491
受取手形及び売掛金	27,292	27,014
有価証券	831	831
商品及び製品	1,079	854
仕掛品	5,406	5,706
原材料及び貯蔵品	2,199	2,217
繰延税金資産	356	130
その他	2,651	3,184
貸倒引当金	△579	△356
流動資産合計	55,386	61,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,299	27,001
減価償却累計額	△16,680	△15,298
建物及び構築物(純額)	11,619	11,702
機械装置及び運搬具	48,359	42,710
減価償却累計額	△39,025	△33,872
機械装置及び運搬具(純額)	9,334	8,838
工具、器具及び備品	11,013	11,745
減価償却累計額	△9,019	△9,244
工具、器具及び備品(純額)	1,994	2,501
土地	9,456	9,013
建設仮勘定	848	788
有形固定資産合計	33,253	32,845
無形固定資産		
のれん	2,721	2,629
その他	489	522
無形固定資産合計	3,211	3,152
投資その他の資産		
投資有価証券	5,452	5,436
長期貸付金	1,496	1,495
繰延税金資産	166	106
その他	3,080	2,993
貸倒引当金	△877	△995
投資その他の資産合計	9,317	9,036
固定資産合計	45,782	45,033
資産合計	101,168	106,109

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,355	13,221
短期借入金	49,638	8,021
1年内返済予定の長期借入金	13,156	2,059
リース債務	298	246
未払金	1,462	1,585
未払法人税等	345	290
未払費用	1,861	1,946
繰延税金負債	29	10
賞与引当金	560	589
その他	6,185	8,282
流動負債合計	87,894	36,255
固定負債		
社債	670	205
長期借入金	9,367	39,418
リース債務	489	394
繰延税金負債	2,553	9,392
再評価に係る繰延税金負債	17	17
退職給付引当金	2,392	2,221
役員退職慰労引当金	150	104
その他	765	380
固定負債合計	16,405	52,134
負債合計	104,300	88,389
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,755	12,171
資本剰余金	1,059	15,980
利益剰余金	△32,617	△8,416
自己株式	△24	△24
株主資本合計	△827	19,711
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	58	73
繰延ヘッジ損益	—	△4
土地再評価差額金	△164	△164
為替換算調整勘定	△6,078	△5,478
その他の包括利益累計額合計	△6,184	△5,574
少数株主持分	3,880	3,583
純資産合計	△3,131	17,720
負債純資産合計	101,168	106,109

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	45,983	52,583
売上原価	37,331	43,000
売上総利益	8,652	9,583
販売費及び一般管理費	7,838	7,387
営業利益	813	2,195
営業外収益		
受取利息	102	58
為替差益	—	121
助成金収入	161	63
持分法による投資利益	352	87
その他	346	300
営業外収益合計	963	631
営業外費用		
支払利息	789	818
為替差損	583	—
その他	172	319
営業外費用合計	1,545	1,137
経常利益	230	1,690
特別利益		
固定資産売却益	150	66
投資有価証券売却益	3	259
貸倒引当金戻入額	103	—
債務免除益	—	361
その他	115	5
特別利益合計	373	694
特別損失		
固定資産除売却損	77	20
事業構造改善費用	233	3,824
投資有価証券評価損	272	—
減損損失	—	369
貸倒引当金繰入額	29	—
その他	513	65
特別損失合計	1,125	4,279
税金等調整前四半期純損失(△)	△521	△1,895
法人税、住民税及び事業税	227	212
法人税等調整額	△130	7,106
法人税等合計	96	7,319
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△617	△9,214
少数株主損失(△)	△108	△211
四半期純損失(△)	△509	△9,003

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△617	△9,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	16
繰延ヘッジ損益	—	△4
為替換算調整勘定	△1,404	427
持分法適用会社に対する持分相当額	△470	149
その他の包括利益合計	△1,851	589
四半期包括利益	△2,469	△8,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,293	△8,392
少数株主に係る四半期包括利益	△176	△233

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△521	△1,895
減価償却費	2,260	1,962
のれん償却額	183	92
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△189	△110
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△118
賞与引当金の増減額(△は減少)	88	38
固定資産除売却損益(△は益)	△73	△45
債務免除益	—	△361
事業構造改善費用	233	3,824
減損損失	—	369
受取利息及び受取配当金	△119	△84
支払利息	789	818
売上債権の増減額(△は増加)	△1,187	△46
たな卸資産の増減額(△は増加)	△404	△827
仕入債務の増減額(△は減少)	△205	△1,195
その他の流動資産の増減額(△は増加)	110	△828
その他の固定資産の増減額(△は増加)	△1	△3
その他の流動負債の増減額(△は減少)	935	535
その他の固定負債の増減額(△は減少)	△21	△113
その他	△283	△971
小計	1,572	1,038
利息及び配当金の受取額	196	136
利息の支払額	△931	△636
法人税等の支払額	△398	△370
法人税等の還付額	166	159
営業活動によるキャッシュ・フロー	604	326
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,193	△192
定期預金の払戻による収入	2,336	891
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	18	52
関係会社株式の取得による支出	△79	—
有形固定資産の取得による支出	△2,044	△1,304
有形固定資産の売却による収入	346	109
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△555
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	296	—
過年度関係会社株式売却代金の回収による収入	24	70
短期貸付金の増減額(△は増加)	85	6
長期貸付けによる支出	△62	△26
長期貸付金の回収による収入	23	224
その他	△189	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,441	△601

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	672	△779
長期借入れによる収入	150	43
長期借入金の返済による支出	△2,376	△1,766
社債の償還による支出	△59	△55
株式の発行による収入	—	9,000
少数株主への配当金の支払額	△6	△26
その他	△244	△156
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,864	6,259
現金及び現金同等物に係る換算差額	△493	157
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,195	6,141
現金及び現金同等物の期首残高	16,629	15,697
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,434	21,839

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	金型支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	17,379	28,603	45,983	—	45,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	22	974	996	△996	—
計	17,401	29,577	46,979	△996	45,983
セグメント利益	892	280	1,172	△359	813

(注) 1. セグメント利益の調整額△359百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△479百万円、セグメント間取引消去による発生額120百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当するものではありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	開発支援事業	金型支援事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,623	33,960	52,583	—	52,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	705	752	△752	—
計	18,670	34,665	53,335	△752	52,583
セグメント利益	1,709	849	2,558	△363	2,195

(注) 1. セグメント利益の調整額△363百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△429百万円、セグメント間取引消去による発生額66百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
(固定資産に係る重要な減損損失)

	開発支援事業	金型支援事業	調整額	合計
減損損失	—	369	—	369

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	利益剰余金
前連結会計年度末残高	30,755	1,059	△32,617
当第2四半期連結累計期間末までの変動額			
A種優先株式の発行(注)1	4,500	4,500	—
B・C種優先株式の発行(注)2	10,294	10,247	—
無償減資	△33,378	33,378	—
欠損填補	—	△33,204	33,204
四半期純損失	—	—	△9,003
当第2四半期連結累計期間末までの変動額合計	△18,583	14,921	24,200
当第2四半期連結累計期間末残高	12,171	15,980	△8,416

(注) 1. 第三者割当の方法により、株式会社企業再生支援機構に全株式を割り当てることで、9,000百万円の資金を調達いたしました。

2. B・C種優先株式の発行は債務の株式化により、資金調達は行っておりません。なお、B種優先株式の発行により当社の有利子負債が10,311百万円、C種優先株式の発行により当社の有利子負債が10,230百万円減少いたしました。

(7) 重要な後発事象

タイ北中部において、当第2四半期連結会計期間末後に発生した洪水により、同国のパトンタニ県に所在する当社連結子会社のタイアークが浸水被害を受けております。当洪水により、固定資産除却損及び復旧費用等の発生が見込まれますが、これらが当連結会計年度の財政状態及び経営成績等に及ぼす影響について現時点では合理的に算定することは困難であります。

なお、同国のチョンブリ県に所在する当社連結子会社のヒライセイミツ(タイ)及びギフセイキタイには、現時点では直接的な被害はありません。